

心に寄り添う認知症ケア

バリデーションとは、認知症の方とのコミュニケーション方法のひとつで、認知症の方が「物を取られた!」「家へ帰りたい!」と騒いだり、徘徊したりする行動の一つひとつには、その方の人生でやり残した課題があると考え、ご本人の人生に照らして考え、感情を解放する、心に寄り添うケア手法です。

祥雲館では、5年前から

— 認知症を生きるといふこと —
バリデーションの実践がメディアで紹介!!

バリデーション・トレーニング協会認定バリデーション・ティーチャーである都村尚子先生(関西福祉科学大学准教授)にご指導いただき、デイホームすみれを中心に、特養、グループホームで実践を重ねています。

バリデーションの実践

都村先生のバリデーションの取組みが、2月19日の関西テレビスーパーニューズアンカー『リアル』で紹介される! バリデーションで〜で特集されました。

番組では、祥雲館の特養に入所されているお二人の利用者さんへ、都村先生が実践するバリデーションを用いたコミュニケーションの様子を放送され、大きな反響がありました。

番組で紹介されたお二人は、感情を解放され、人生の重荷を少し降ろすことが

しょう
笑雲
うん

第66号
発行：平成27年4月5日

社会福祉法人豊悠福社会
祥雲館

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301
FAX：072-733-2303

番号をお間違いのないようご注意ください



できた安堵感から、ずいぶん穏やかに過ごしていただいています。

また、デイホームすみれでも、利用者さんのストレスや不安が軽減され、自尊心を取り戻された方がたくさんいらっしゃいます。

祥雲館では、バリデーションに取り組み始めてから、認知症高齢者に対して、尊厳と共感をもって関わり、言葉だけではなく、表情やしぐさを通じてコミュニケーションがとれるようになりました。

高齢化社会を迎え

認知症は、決して他人事ではありません。介護施設だけではなく在宅でも多くの方が不安を抱えていらっしゃると思います。バリデーションに触れることで、認知症の方の人生の価値や存在に意義を見出し、個性として捉えなおすことができ、少しでも不安から解放されるのではないかと思います。

バリデーションセミナー「バリデーションへの誘い」

【講師】都村尚子先生 関西福祉科学大学 准教授
【日時】平成27年5月2日(土)
1回目……10:00~12:00 (定員50名)
2回目……13:30~15:30 (定員50名)
☆1回目、2回目共に 同じ内容の講習となっております。
【場所】豊悠ホール(豊悠プラザ2階)
豊能郡豊能町吉川187番地の1
【参加費】500円

お申込みは、豊悠福社会 総務グループまで
①TEL：072-733-2301
②FAX：072-733-2303
③メール：info@syownkan.jp
FAX・メールでお申込の方は
●件名「5月2日 バリデーションセミナー参加の件」
●申込者(代表)氏名、参加人数、電話番号をご記入ください。

祥雲館ではこれからも定期的に、地域の方にもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

**第4回 町おこしプラザ「For You ~豊悠~ 森のマーケット」
ハンドメイド&フリーマーケットを開催します。**

【日時】5月17日(日) 10:00~14:00 (雨天時は豊悠プラザ館内)
【場所】豊悠プラザ前駐車場(豊能郡豊能町吉川187-1)
【交通手段】電車……能勢電鉄「妙見口」駅から徒歩8分
車……会場内駐車場は限りがありますので、公共交通機関などでお越しください。
※送迎車運行! 西公民館~会場~妙見口駅→西公民館(20分間隔)
※詳しくは、イベントチラシをご覧ください。

- 主なイベント**
- ☆能勢電鉄・阪急電鉄ハイキングキャラクター「びよんちゃん・のんちゃん」と踊ろう!
出演:びよんちゃん・のんちゃん、COTTON.P.C、一般参加者歓迎(当日受付)
 - ☆びよんちゃん・のんちゃんと一緒に写真撮影、駅長になりきり写真撮影
 - ☆能勢電車の絵コンテスト(出品者全員! 記念品進呈。優秀作品は、能勢電鉄山下駅構内展示します)
 - ☆地元の美味しいものマルシェ!(新鮮野菜・おいしいワイン・パン・ドーナツなど)
 - ☆ハンドメイド&フリーマーケット

【募集】①フリーマーケット出店(4月15日締切)
②能勢電車の絵コンテスト(5月8日締切)

【開催・募集に関するお問合せ】
TEL:072-733-2301(町おこしプラザ事務局 担当:権神、滝本まで)



笑雲 Café 第22回 「バリデーションの取り組み」について

今回は、実際に祥雲館で行っているバリデーションについて、先日のテレビ放送で出演いたしました介護スタッフを語り手に、介護現場で起こる日々の喜びや、戸惑いなど実体験などを交えて、お話をさせていただきますと思います。テレビでは紹介できなかったストーリー、その後の様子などもご紹介したいと思います。そして、認知症の方々の介護について皆様と共に対話を深めたいと思います。

【日時】平成27年4月25日(土) 10時~12時
【場所】吉川自治会館2階(軽運動室)
【会費】200円(茶菓子代として)
【語り手】祥雲館 本永憲司さん



お申込みは、祥雲館 TEL:072-733-2301 まで
準備の都合上、4月17日(金)までにお申し込みください。

祥雲館 ボランティアに 登録しませんか?



祥雲館ボランティア登録のお誘い

毎日の生活の中の、ちょっとした時間を「祥雲館」で過ごしませんか? 「地域の活動」に関心がある方! 高齢者や障がい者に寄り添っていただける方! “一歩踏み出してみませんか?” あなたにぴったりの活動にきっと出会えるはず!!

★こんなボランティアスタッフを募集しています★

イベント 【活動内容】 町おこしプラザ当日の受付・案内・模擬店手伝い・会場設営・片づけ
スタッフ 【活動日】 5月17日(森のマーケット)、8月下旬(夏祭り)

問合せ先: 豊悠福社会 ☎072-733-2301 (担当: あずま)

TOPICS

★ヘルマンハーブ 演奏会 (3月14日)

ホワイトデー~音色が鳴り響きました♪
“Swing 遊”によるヘルマンハーブ演奏会。あまり馴染のない楽器でしたが、演奏会が始まると、豊悠ホールが素敵な空気に包まれ……利用者さんもうっとり(^ ^)ヘルマンハーブの虜になりそう♪



★「花折街道」 縁側café (3月16日~4月5日)

祥雲館新館では、花折街道“縁側café”やっています! 新館は、花折街道沿いにあり、通年同様、今年ものれん・竹雛を飾らせていただいております、のれんが春風にヒラヒラ。また、今年は「ひまわり」が“縁側café”に参加し、皆様をお待ちしております。どうぞお立ち寄りください。



★消防訓練 (3月18日)

今回は、初めて祥雲館本館・新館・豊悠プラザ合同で行いました。改めて、火災の対応を考えることができました。消火ホースを使って放水実践訓練をし、とても迫力があり貴重な経験ができました。



★デイサービスセンターみずほ

節分の鬼出現! (2月4日)
みずほにはスタッフが扮する赤鬼と青鬼が来ました。利用者の皆さんは必死に豆をまき、鬼を追い払い……赤鬼と青鬼は泣きながら逃げていきました。



★100歳の誕生日ケーキ (1月29日)

100歳を迎えられた利用者さんの誕生日会。ショート利用中に誕生日を迎えられると聞き、昼食メニューも大好物のエビフライ!そして恒例の100本ローソクの誕生日ケーキでお祝いしました。家族様も駆けつけていただき、とても楽しい誕生日会となりました。



TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

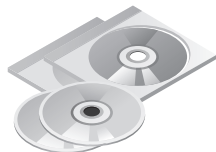
facebook 始めました!

次回の発行は平成27年7月5日(日)です

ホスピタリティプロジェクト2015

利用者様、ご家族へのおもてなしの心を広げたい

「ホスピタリティプロジェクト」も今年で4年目になります。これまで、様々な視点からホスピタリティについて、プロジェクトメンバーで話し合い、新たな仕組みを導入実践してきました。そして、4年目の今年取り組みは、『あるあるDVD』の制作です。昨年のプロジェクトチームで集めた事例(良いと思っていた言動が、結果的に裏目に出てしまったこと)をテーマに制作しようと考えています。その他、これまでに取り組んできた活動を、整理し、施設の仕組みとして確立していきたいと思っています。過去に制作しました『あるあるDVD』は施設職員研修に活用しています。



第3回 町おこしプラザ 「健康増進フェスタ2015」を終えて

2月22日に開催いたしました「健康増進フェスタ2015」には、地域の皆様105名がご参加いただきました。 「健康」をテーマとした初めての試みで、運営面でご迷惑をおかけしたところもありましたが、参加いただいた皆様の健康に関する高い意識を再認識いたしました。そして、皆様の笑顔が印象的でした。短い時間でしたが、健康について一緒に考えることができたこと、うれしく思っております。最後に、運営のお手伝いや飲食の出店などでサポートしていただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



事業承継のお知らせ

平成27年4月から、社会福祉法人豊悠福社会は祥雲館の全ての事業を承継させていただきましたこととなりました。 福祉サービス事業での貢献を通じて「地域のお仲間」の一員として認めていただけるようになることが、私どもの第一の目標でございます。一杯頑張る所存ですので、これからも皆様からの温かいご支援・ご指導・ご協力お願い申し上げます。 社会福祉法人豊悠福社会 理事長 園田 信雄

編集後記

能勢電鉄「妙見口駅」から妙見山へ続く街道(花折街道)は、100メートルほど間隔をおいて、何本かの竹筒の中にお雛さんが鎮座しています。まるでかぐや姫のようです。見ているだけでうっとりさせられます。街道沿いの家の玄関先には、雛ののれんがヒラヒラと春風になびいています。都会では味わうことはできない瞬間でした。 広報担当 滝本

